

# 新製品 Maya 用 NPR プラグイン 『PSOFT Pencil+ 4』 を発売

© 2018-10-01



株式会社ピー・ソフトハウス ( 本社 : 宮城県仙台市、代表取締役社長 : 畠山慶輝 ) は、セル画のような表現を 3DCG で実現するノンフォトリアルスティック レンダリング プラグイン 「 [PSOFT Pencil+ 4 for Maya](#) 」 を 2018 年 10 月 1 日から発売します。

Pencil+ 4 for Maya は TV アニメや映画制作の現場での運用から得られたフィードバックのもと、Maya 特有のワークフロー環境を考慮した効率化と生産性の向上に重きを置いた製品開発が行われています。

## ■ Pencil+ 4 for Maya とは



ペンシルプラス

PSOFT Pencil+ 4 for Maya は、セル画のような表現を実現する Autodesk Maya 用レンダリング プラグインです。

日本のアニメーションやイラストレーションに見られる独自のアートスタイルを 3D で再現する高度な表現ができます。単純な面と線で構成されるノンフォトリアル表現は、要点を単純化して伝えたい解説図製作にも有効な表現手段となります。プロダクトデザインやグラフィックデザインのビジュアライゼーションツール、モーショングラフィックやアニメーション用途にも最適です。

※アニメ作品に多数採用され、定評のある 3DCG ソフト向け プラグイン 「 PSOFT Pencil+ 4 for 3ds Max 」 の Maya 版となります。

## ■ 主な特長

- 表現力豊かなマテリアル機能
- 高速で美しいライン描画
- 強力なレンダーエレメント・ファイル出力機能

## ■ 機能

### マテリアル

- トゥーンレンダリング機能
- ラインの描画検出設定機能
- ラインカラーの置き換え機能

### ライン

- 可視線の描画機能
- 隠線の描画機能

- 高度なライン設定
- 詳細なブラシ設定
- 距離による減衰機能
- ライン サイズ マップ機能
- 新しいエッジ検出設定
  - アウトライン
  - オープンエッジ
  - オブジェクト
  - 交差
  - スムージング境界
  - マテリアル ID 境界
  - 選択エッジ
  - 法線角度
  - ワイヤ
- リファレンス機能に対応
- ラインのビューポート表示
- Pencil+ 4 ライン ウィンドウ
- Pencil+ 4 ライン レンダーボタン（レンダービュー内）

## ファイル出力

- ラインのレンダーエレメント出力機能
- ラインの EPS 形式出力機能
- PSOFT Pencil+ 4 Line for After Effects 編集用ファイル出力機能

## 主な用途

- アニメ、映像制作
- イラストレーション
- プロダクトデザイン
- グラフィックデザイン
- 建築パース
- テクニカルイラスト
- モーショングラフィック

## 動作環境

### 対応ソフトウェア

Windows 版

Autodesk Maya 2015 / 2016 / 2016 Extension 2 / 2017 / 2018

※ Maya ソフトウェア レンダラで動作

### ハードウェア

Autodesk Maya 各バージョンの動作環境に準拠

## 製品価格

スタンドアロン ライセンス	(税込 / 円)
ダウンロード版	60,480 円
パッケージ版	64,800 円

ネットワーク ライセンス	(税込 / 円)
パッケージ版	90,720 円

詳細は PSOFT ストアをご覧ください。

<https://www.psoft.co.jp/jp/store/>

## 体験版について

<https://www.psoft.co.jp/jp/download/pencil-maya/>

## 関連リンク

PSOFT ウェブサイト

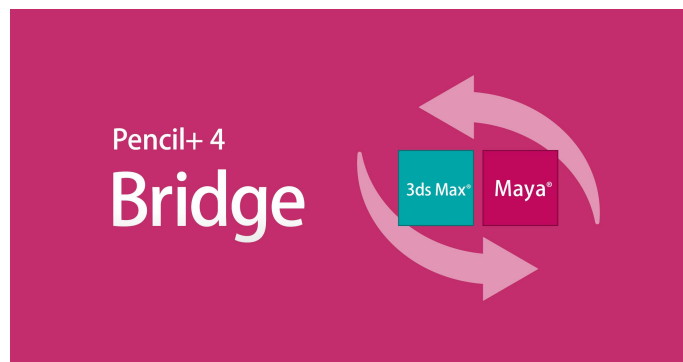
<https://www.psoft.co.jp/jp/>

## 関連資料

製品概要「PSOFT Pencil+ 4 for Maya」

<https://www.psoft.co.jp/jp/product/pencil/maya/>

## 関連ユーティリティ



ブリッジ

### Pencil+ 4 Bridge for Maya 提供予定

Pencil+ 4 Bridge for Maya / 3ds Max により、Pencil+ 4 マテリアルと Pencil+ 4 ラインの設定をファイルに書き出し、読み込むことができます。シーンファイルとは別のファイルとして管理できるため、他のシーンへ容易に適用することができます。また、Maya と 3ds Max 間で Pencil+ 4 の設定を相互に活用できるので、利便性が向上します。

※このユーティリティは、ユーザーページ内から無償提供予定。後日ご案内します

## お問い合わせ

株式会社ピー・ソフトハウス <https://www.psoft.co.jp/>

製品についてのお問い合わせは下記専用フォームからお願いします。

お問い合わせ窓口 <https://www.psoft.co.jp/jp/contact/>